

記載内容は変更されることがあります。

科目名	プログラミング II	英語科目名	Programming II
開講年度・学期	平成 27 年・後期	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科・2 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30 h
担当教員	南齊 清巳 サム アン ラホック	居室（もしくは所属）	電気電子創造工学科棟 3 階 電気・物質棟 1 階
電話	南齊：257（内線） ラホック：225（内線）	E-mail	南齊：nansai@小山高専ドメイン ラホック：rahok@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 条件分岐，くり返し処理を用いたプログラミングができること。			
2. 関数を用いたプログラミングができること。			
3. 文字列を用いたプログラミングができること。			
4. ポインタ，構造体を用いたプログラミングができること。			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
到達目標 1～2：中間試験 (70%) および 1～7 週目の課題提出 (30%) を合わせて 60%以上の成績で達成とする。			
到達目標 3～4：定期試験 (70%) および 9～15 週目の課題提出 (30%) を合わせて 60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
評価は以下の 3 項目を合わせて行う。			
1. 中間試験 (35%)			
2. 定期試験 (35%)			
3. 全ての課題提出 (30%)			
授業内容			
1. 条件分岐，くり返し（復習）			
2. 配列，多次元配列（復習）			
3. 関数の引数と返り値			
4. 関数設計（1）			
5. 関数設計（2）			
6. 再帰関数			
7. 数学関数			
8. 中間試験			
9. 文字列の操作			
10. 文字列と関数			
11. ポインタ			
12. ポインタと配列			
13. ポインタと関数			
14. 構造体（1）			
15. 構造体（2）			
定期試験，定期試験返却，解説			
キーワード	プログラミング，アルゴリズム，C 言語		
教科書	新版 明解 C 言語 入門編		
参考書	1. 石畑清「アルゴリズムとデータ構造」岩波書店 2. 奥村晴彦「C 言語による最新アルゴリズム事典」技術評論社 3. 林晴彦「C 言語による実用アルゴリズム入門」ソフトパブリッシング		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	コンピュータ入門		
現学年の関連科目	プログラミング I		
次年度以降の関連科目	プログラミング III		
連絡事項			
1. アルゴリズムは自分で考えることが重要ですが，まずは定番ともいえる基本アルゴリズムをきちんと理解しておくことが大切です。			
2. アルゴリズムを考えたら実際にプログラムの形で表現してみることが重要です。 こうすることでプログラミング技術も向上します。			
3. アルゴリズムについては良書がたくさんあります。図書室でいろいろ調べてみることを勧めます。			
4. 講義時間以外でも質問がある場合は応じます。			
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 18 日		